



彩の国  
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

E-mail k211274@pref.saitama.lg.jp

# 家畜衛生だより

令和4年7月

## 牛ウイルス性下痢(BVD)の バルク乳検査を実施します！

近年、BVDの発生が全国的に増加しており、県内でも持続感染牛(PI牛)摘発事例があります。

本県ではPI牛早期発見のため、令和元年度から半年に一度、県内の全酪農家を対象にバルク乳を採取し、無料で検査を実施しています。

今年度第1回目については以下のとおりです。

日 時：令和4年8月10日(水)

検査材料：バルク乳(原則、家保職員がクーラーステーションで採材します)

検査方法：遺伝子検査

検査の流れ：裏面の検査フローチャートを参照してください

※第2回目は令和5年2月を予定しています

### 県内のPI牛摘発事例

平成29年度：酪農家1戸2頭、肉牛農家1戸1頭摘発

平成30年度：酪農家1戸2頭摘発

令和2年度：酪農家3戸3頭摘発

☆出荷先の農場でPI牛と診断された事例もあります

### 発生予防対策

○導入牛(妊娠牛の場合はその産子も)は、その都度BVDの検査を行いましょう。(検査手数料 600円/頭)

※販売用子牛も検査を行い、BVDをまん延させないように努めましょう。

○BVDワクチンを接種して感染を予防しましょう。ワクチンには生と不活化がありますが、妊娠牛には必ず不活化を接種してください。

○PI牛と診断されたら速やかにとう汰しましょう。

# 牛ウイルス性下痢 (BVD) について

- ・牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) 感染による牛の病気
- ・通常は呼吸器症状、下痢など→2週間程度で回復
- ・妊娠牛が感染→胎盤を介して胎子へ感染  
胎齢によって  
流死産や奇形、持続感染牛 (PI牛) を産子



## 検査フローチャート

